


『チンピ』寸評

- ・意表をついたタイトル
- ・音源制作にてなれているのがよくわかる
- ・バロック音楽のスタイルにきれいに落としこんであるオーボエ協奏曲
- ・のびやかで新鮮な音づかいもきいててここちよい
- ・ただ譜面に書きあらためる作業がすすめられるとなおよい

完成度をさらに上げるために

- ・♩=92くらいなので **Moderato** が適切
- ・MIDIから出力した楽譜&ききとりでスコアに再構成してみる ↓ m.1-3, m.13-16
- ・演奏者のことをかんがえると演奏指示はていねいにつけてあったほうがよい
- ・音源のクオリティを上げていくにもじっさいの譜面を
じぶんで書いていく作業はてまがかかるがたいせつ
- ・タイトル『チンピ』からうけるイメージをもっと音として追求できそう
- ・ト長調なので調号をつかおう → 
- ・弦楽合奏の伴奏で各パート最低二人はいるだろう

m.=measure 小節番号のことです。



たのんよにできました。

持麿 勉

Moderato

